

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報誌

ななくり

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会編集 発行人 園田 茂

〒515-1295 三重県久居市大鳥町向広424-1

電話 059-252-1555 (代表)

ホームページ <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/>

FAX 059-252-1383

外科学・緩和ケア講座教授就任の挨拶：一医療人として

皆様、こんにちは！この度、2003年10月1日付けをもちまして、藤田保健衛生大学医学部外科学・緩和ケア講座教授（七栗サナトリウム）を拝命いたしました。身に余る重責ではありますが、一生懸命つとめていきたいと存じますのでよろしくお願ひいたします。

私は、常々医師という職種のみでは決して十分な医療は実践できないと感じているひとりです。すなわち、医師や看護師、薬剤師、栄養士、各種療法士、検査技師、事務職員などの専門職である前に、“医療人”であるべきだと考えているわけです。“医療人”とは、“患者さんに対してためになる事（良い事）をなすが、決して災いとなる事（悪い事）はない人”とかってに定義しています。従いまして、私は医師である前に医療人であり、医療人であって医師の専門職を有しているものと自覚しています。この医療人という意味では各種職種間の壁は全く不要です。患者さんの立場に立ってみると、自分に治療を施してくれる人たちが一堂に会して各専門分野から一番適した、また自分も納得できる医療を実施して欲しいものです。これがチーム医療の原点だと考えます。私はこれまでNutrition Support Team(NST:栄養サポートチーム)という栄養療法を通してチーム医療の確立に尽力してきました。たった一人からはじめて、現在では全国に何万人もの仲間ができました。みんな医療人という大きな輪のなかで一緒に悩み、一緒に喜びを分かち合える人々です。しかし、わが国の医療の現場ではまだまだこのような概念は浸透していません。この七栗サナトリウムは、緩和ケア、リハビリテーション、老年医学という最もチーム医療が要求される分野の集合体であり、他の医療施設にて感じるセクショナリズムはありませんように思われます。そこでまずこれら特色ある分野をチーム医療という概念で進歩的にかつ有機的に体系付け、一本化できないかなと思っています。

しかしそのためには外科学、内科学という急性期医療を実践できる力を併せ持つ事が必要になります。この外科学・内科学の実践は先の3つの特色ある分野を結びつけることになるよう思います。私は外科学と緩和ケアを別々の分野ではなく連携づけていくとともに、漠然としたものではなくしっかりとチーム医療

を実践できるものに体系付けるように努力していきたいと思っています。そして園田病院長のもと、病院全体の体制作りにも参加し、診療分野での明確な特色とチーム医療を前面に押し出しその上で地域に密着した医療の展開を目指したいと思います。いずれにしても一医療人ひとりでは何もできません。是非とも皆様のご助力・ご協力を賜りますようお願いいたします。みんなでもっともっとすばらしい病院にいたしましょう！

東口 高志



略歴

- 1981年 三重大学医学部卒業
- 同年 三重大学医学部第一外科入局
- 1982年 厚生連 中勢総合病院外科 勤務
- 1983年 三重大学大学院医学研究科 入学
- 1987年 同修了
- 同年 三重大学医学部第一外科 助手
- 1990年 米国 オハイオ州 シンシナティ大学外科 勤務
- 1994年 三重大学医学部第一外科 講師
- 1996年 厚生連 鈴鹿中央総合病院 外科医長
- 1998年 同病院 NSTチャーマン兼務
- 2000年 尾鷲総合病院外科手術部長
NST & CP COMPLEXチャーマン兼務
- 2003年 同病院 副院長
- 2003年 10月～ 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム
外科学・緩和ケア 教授

新任助教授の紹介

内科学助教授 鹿野 昌彦

この度、藤田保健衛生大学病院の腎臓内科より七栗内科に赴任しました。腎臓の医者が透析もない七栗になぜいくのかと、聞かれることもあります。腎臓は体の中でもっとも加齢の影響を受ける臓器であり、老化と密接な関係があります。今まで血管の障害（動脈硬化）に関心をもち、多少なりとも研究もしてきましたので、高齢者医療に対しても違和感はないつもりです。それでも、実際の入院患者さんの年齢や病態は、今まで見てきた患者さんとはかなり異なっていました。

老年医学会の専門医の資格は昔にとったので、

もう一度勉強しなおして、皆さんと共に患者さんに役立てたらと考えています。また、この病院のシステムについてわからないことが多いので、いろいろ教えてください。よろしくお願ひいたします。



略歴

昭和53年 名古屋大学医学部卒業
その後、ほとんど大垣市民病院（一般内科）で勤務
平成4年より藤田保健衛生大学腎臓内科勤務

前回・前々回講演会の報

9月3日 森公民館
講師 看護師今地はるみ



生き生き今日も青春

多数のご参加 ありがとうございました



11月14日 榊原公民館
講師 作業療法士
和田陽介
寝たきり予防



薬剤部コラム とそ
お屠蘇のはなし

元旦に家族そろって最初にいただくお屠蘇。正月に年明けを祝って屠蘇酒を飲むことは、中国から伝わった風習です。日本では平安時代に宮中の正月行事としてはじめられ、やがて一般にも広りました。

屠蘇酒は本来、胃腸の働きを盛んにし、血行を良くし、風邪をひかないようにするなど、疾病の予防に用いる薬酒です。

中国後漢三国時代の名医・華陀の処方と

いわれており、ビャクジュツ（オケラ）、ケイシン、ボウフウ、バッカク、ショクショウ（サンショウ）、キキョウ、ダイオウ、ウズなどの薬草を調合した屠蘇散を袋に入れ、酒に浸してつくります。

現在では、屠蘇散に含まれる薬草の種類や量がずいぶん変わり、酒をみりんで代用するなど、薬効を期待するより、一年の邪気を払い、延命長寿を願って飲むという習慣だけが残ってきたといえます。

薬剤部 福浦久美子

特集 デイ・ケアセンター

デイ・ケアとはリハビリ、食事、入浴、レクリエーションを受け1日6時間以上を過ごして頂くサービスです。
(通所リハビリ)

はじめまして、私は当院のデイ・ケアでレクリエーション担当している早川と申します。
今日は私どもの施設において実施しているお楽しみ会について紹介したいと思います。



6月 小学生との交流会



日常生活ではなかなか体験の出来ないイベントを考え、例えば、豆まき大会や、運動会、夏祭り、近くにある栗葉小学校との交流会、クリスマス会、おやつレクリエーションを実施し、日々のエッセンスになればと考えています。今後も利用者様の要望に耳を傾けながら、楽しく笑顔で過ごせるレクリエーションを考えていきたいと思っております。

年間を通して毎月一回、「感動・笑い・チームワーク」をモットーにボランティアによる演奏会や、スタッフによるゲーム大会、季節に応じたイベントを行い、利用者様と共に楽しい時間を共有しております、おかげさまで大変好評をいただいております。

12月 クリスマス会



8月 夏祭り



随时、イベントボランティアを募集しております。

お申し込みは当院デイ・ケアセンターまで
よろしくお願ひ致します。
(電話 059-252-3091 担当 西田)

外来医師担当表

平成15年12月25日 現在

	月	火	水	木	金	土
内科 午前	三浦講師	鹿野助教授	山本医師	鹿野助教授	山田講師	交代制
午後	三浦講師	鹿野助教授	山田講師	鹿野助教授	山田講師	—
外 科	東口教授	村井医師	東口教授	村井医師	東口教授	交代制
リハビリテーション科	園田教授	鈴木医師	花村医師	清水医師	岡本医師	交代制
東洋医学午前	栗岡講師	栗岡講師	—	栗岡講師	栗岡講師	栗岡講師
午後	栗岡講師	栗岡講師	—	—	栗岡講師	—
検査	腹部超音波	心臓超音波	—	腹部超音波	内視鏡検査	—
放射線科	CT	CT	消化器検査	CT	CT	—

講演会のご案内

日時：平成16年2月19日（木）13時30分から

場所：津中央公民館 津市丸之内養正町1－1

電話 059-228-2618

講師 内科学助教授 鹿野 昌彦

内容 「生活習慣病とは」

参加無料です。多数のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ先 津中央公民館

院 内 行 事

11月14日 秋祭り大運動会



12月10日 クリスマス会
フラダンス・ショー

